

科目名 看護統合実習Ⅱ 時間割表記名 看護統合実習Ⅱ	配当時期 3年次 後期 単位数 2単位 時間数 90 時間 (9 日間)	講義担当者 隈部 直子
事前学習内容 実習要項に準じる。		
科目全体のねらい・授業目標 【実習目的】 医療チームの中で、看護師としての自覚を持ち、既習の知識・技術・態度を統合し、患者の状況・状態に応じた看護を実践できる 【実習目標】 1. 複数の受け持ち患者に必要な看護の優先度を判断できる。 2. 複数の受け持ち患者の個性と看護の優先度を考慮し、安全・安楽な看護が実践できる。 3. 看護管理の実際について理解できる。 4. 保健医療チームの一員としての自覚をもち、専門職業人としての望ましい態度がとれる。 5. 看護職としての役割を理解し、自己の課題を明らかにできる。		
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。		
授業の流れ 本実習では、複数の患者を受け持ち、患者の状態をアセスメント、看護問題を特定し、看護の優先度を判断する。これまでに学習した知識・技術を統合し、患者の状況や状態に応じた看護を実践する実習である。 2名の患者を受け持ち、一人ひとりの状態をアセスメントした上で、ケアの優先度を判断し計画を立案し実施していくが、患者の状態変化や治療予定の変更等による計画の修正では、チームメンバーやリーダー看護師への報告・相談、患者への説明や関係職種との調整について実践を通して学ぶ。 実習期間中に、管理実習を1日実施し、看護師長に同行し、病棟における看護管理(目標管理・職員管理・物品管理・患者管理・施設管理・情報管理)の実際、看護のマネジメントについて学ぶ。 実習の最終段階であり、今までの学習を統合させながら看護を実践し、チームの一員としての自覚と責任について実践を通して学び、言語化できることを目標とする。		
評価 ルーブリックに沿って評価する。		
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 看護管理 医学書院 他 既習のテキストを活用する		